

# 《健康福祉部 令和3年度予算見積方針》

## 部内マネジメント責任者

部長 増田 高志

## 予算見積にあたっての基本的な考え方および重点事項

### 【施策全体の方向性、基本的な考え方】

「住む人も、訪れる人も、「健幸」になれるまち」を目指し、健幸都市づくりを進めます。  
 ◆「健幸都市」の実現に向け、市の総合政策として部局横断的に取組み、産学公民が連携して、健幸づくりを進めます。

健康・医療・保険・福祉の充実を図り、「健幸で安心して暮らせるまちづくり」を進めます。  
 ◆いきいきとした高齢社会の実現に向けた取組と、あんしんできる高齢期の生活への支援を進めます。  
 ◆障害のある人もない人も、共に生きる社会づくりを進めます。  
 ◆地域共生社会の実現に向けて、複合化・複雑化した支援ニーズに対し、関係機関等とともに包括的な支援体制の整備を進めます。  
 ◆「誰もが健康で長生きできるまち草津」を目指し、市民の健康づくりを進めます。  
 ◆生活安定への支援と暮らしの安心の確保に取り組みます。  
 ◆安心して医療や介護のサービスが受けられるよう、各保険制度の適切な運営に努めます。  
 ◆地域の健康課題の解決に向けて、関係機関と連携を図りながら取組み、地域の特性に応じた健康づくりの支援に努めます。

### 【重点事項】

◆「健幸都市くさつ」の実現に向けて、健幸都市基本計画に基づき、事業展開を図ります。  
 ◆働く世代の健康づくりや生活習慣病予防に関する市民への啓発を行い、市民の健康への関心を高める取組を進めます。  
 ◆「認知症があっても安心して生活できるまちの実現」のために、共生・予防の観点の強化を図り、認知症を我が事として社会全体で支える取組を進めます。  
 ◆市民が安心して生活できる地域共生社会の実現をめざして、地域に関わるすべての人と行政が一体となって、総合的に福祉施策の取組を進めます。  
 ◆各種がん検診の同時実施により、市民の受診機会を拡大し、がんの予防、早期発見・早期治療の取組を進めます。  
 ◆経済的な困窮や複合的な課題を抱える市民への総合相談支援の充実を図ります。  
 ◆市民の生活を維持するセーフティネットとして、面接相談や被保護者の就労支援、生活保護制度の取組を行います。

### 【健幸都市づくりの推進に向けた部内の考え方・主な事業】

「健幸都市くさつ」の実現に向けて、従来の健康福祉施策の枠を超え、市の総合政策として、産学公民が連携して健幸都市づくりを推進します。  
 ◆部局を超えて設置した健幸都市づくり推進チームからの提案によるコロナ禍に負けないくさつレシピの作成など、コロナに負けない健幸都市づくりの取組を進めます。  
 ◆飲食店と連携した食育推進事業等、市民一人ひとりが、健全な食生活を実践できる環境づくりを進めます。  
 ◆コロナ禍において新しい生活様式をふまえ健幸フェアなど、楽しみながら健康づくりへの関心が広がるきっかけづくりを進めます。  
 ◆健診等のデータからみえる地域ごとの特性に応じた健康づくりの活動を支援します。

## 【見 積】令和3年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		令和3年度予算の特徴
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
健康福祉政策課	121,834	103,812	○(健康福祉政策課) 健幸都市基本計画の改定準備を進め、より一層市の総合政策として健幸都市づくりを推進します。 ○(人とからしのサポートセンター) 福祉の総合相談窓口として、多様で複合的な悩みの相談や生活困窮者支援の取組を行います。 ○(生活支援課) 市民の生活を維持するセーフティネットとして、生活保護制度の適切な運営を行うとともに、相談、申請及び被保護者の増加に対応できるよう、体制強化に取り組みます。 ○(長寿いきがい課) 高齢者や家族等が安心して生活できるまちの実現に向けて、「草津市認知症があっても安心なまちづくり条例」および「草津市認知症施策アクション・プラン第3期計画」に基づく取組を着実に推進します。 ○(介護保険課) 草津あんしんいきいきプラン第8期計画に基づき、適切なサービスの提供に努め、安定的な制度運営を行います。 ○(障害福祉課) 障害者の福祉の増進を図るため、日常生活に必要なサービスの支給を行います。 ○(健康増進課) 疾病の予防・早期発見・早期治療につながる取組を進めるとともに、健康づくりや生活習慣病予防に関する取組を行います。
人とからしのサポートセンター	43,644	12,694	
生活支援課	2,022,322	520,649	
障害福祉課	2,818,879	894,378	
健康増進課	664,717	603,477	
地域保健課	722	722	
長寿いきがい課	368,796	325,280	
介護保険課	1,568,470	1,481,683	
保険年金課	3,392,314	2,364,026	
合 計	11,001,698	6,306,721	

## 【前年度】令和2年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
健康福祉政策課	116,595	98,249	
人とからしのサポートセンター	21,008	6,949	
生活支援課	1,971,675	503,505	
障害福祉課	2,750,040	851,248	
健康増進課	675,222	593,539	
地域保健課	756	756	
長寿いきがい課	372,625	321,914	
介護保険課	1,454,840	1,376,253	
保険年金課	3,279,357	2,189,335	
合 計	10,642,118	5,941,748	

## 【増 減】(【見 積】-【前年度】)

所 属	予算額(千円)		予算額の主な増減理由
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
健康福祉政策課	5,239	5,563	○(健康福祉政策課) 健幸都市基本計画の改定作業に伴う委託料の増 ○(人とからしのサポートセンター) 新型コロナウイルス感染症の影響による会計年度任用職員(生活困窮者窓口相談員)2名増員、住居確保給付金の扶助費増 ○(生活支援課) 新型コロナウイルス感染症の影響による生活保護相談、申請及び被保護者の増加を見込んだ人員体制強化と生活保護費増額による増 ○(長寿いきがい課) 草津あんしんいきいきプラン第8期計画策定業務委託料の減 ○(障害福祉課) グループホーム設立による共同生活援助費の増加や、障害者数の増加による訪問系介護給付費の増加 ○(介護保険課) 給付実績や認定者数の見込み、施設の整備状況等を勘案した結果、給付費が増額したことによる介護保険事業繰出金の増 ○(健康増進課) 健康診査事業個別勧奨の見直しによる減、湖南広域行政組合負担金の増額および予防接種・感染症対策にかかるシステム改修による一般財源増
人とからしのサポートセンター	22,636	5,745	
生活支援課	50,647	17,144	
障害福祉課	68,839	43,130	
健康増進課	▲ 10,505	9,938	
地域保健課	▲ 34	▲ 34	
長寿いきがい課	▲ 3,829	3,366	
介護保険課	113,630	105,430	
保険年金課	112,957	174,691	
合 計	359,580	364,973	

主要な事業(新規・拡大・重点事業等) (一般会計および特別会計)

事業名	事業費(千円)		事業概要
	一般会計	一般財源	
健幸都市づくり推進費	13,876	12,968	健幸都市基本計画の改定準備を進め、より一層市の総合政策として健幸都市づくりを推進します。
(拡)地域介護予防活動支援事業費(特別会計)	66	0	新たに市内施設での介護予防教室を定期開催します。
(新)認知症施策推進費(特別会計)	397	0	認知症ヘルプカードの配布、脳活レシピの開発委託、認知症に関する啓発懸垂幕の設置を通じて、認知症施策のさらなる推進を図ります。
(拡)認知症高齢者等探索システム利用支援事業費(特別会計)	648	0	認知症高齢者が行方不明時に家族等が所在地を特定するための発信機(GPS)の利用支援事業において、小型発信機や靴型発信機を導入します。
(新)介護・福祉人材確保定着支援費	30	30	介護の仕事についての出前講座を教育機関等で開催し、介護の仕事に対する魅力を伝えることで若年層の介護人材の確保を図ります。
(拡)節目歯科健康診査委託料	4,665	2,016	節目歯科健康診査の対象者年齢を若年層(20歳・30歳)まで拡大します。
社会保障生計調査	382	0	厚生労働省による生活保護制度の企画運営のために必要な基礎資料を得ることを目的とした統計調査を実施します。
(新)情報副本登録に伴う健康管理システム改修業務	2,035	2,035	新型インフルエンザ予防接種および令和2年10月から開始したロタウイルス予防接種について情報の副本登録に伴う健康かての改修を行い、情報連携を推進します。

枠配分額(当該経費に係る予算見積上限額)に対する見積状況

所 属	一般行政経費(千円)			扶助費(千円)			枠配分額を超過した場合、その理由
	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	
健康福祉政策課	39,477	34,076	5,401	0	0	0	○(人とからしのサポートセンター)【一般】新型コロナウイルスの影響による相談数の増および課が分かれたことにより印刷物が増加し、コピー用紙代、複写機使用料を増額。 【扶助費】障害者活動支援センター運営費補助金の補助率(歳入)減による歳出増。 ○(生活支援課)新型コロナウイルス感染症の影響による生活保護の相談及び申請の増加を見込んだ人員体制の強化による増。 ○(障害福祉課)障害者数の増加による、障害福祉サービス利用者の増加、キャビネット購入費による増加。 ○(介護保険課)新型コロナウイルス感染症対策に要する費用の増額、すっきりさわやかサービス費の対象見込人数・件数の見直しによる増額
人とからしのサポートセンター	3,844	3,893	▲49	2,154	2,225	▲71	
生活支援課	4,410	5,602	▲1,192	503,607	503,607	0	
障害福祉課	18,849	20,837	▲1,988	735,081	752,323	▲17,242	
健康増進課	19,886	19,727	159	506,557	496,559	9,998	
地域保健課	634	632	2			0	
長寿いきがい課	26,410	25,117	1,293	66,820	63,739	3,081	
介護保険課	40,276	41,541	▲1,265	2,358	2,585	▲227	
保険年金課	40,151	40,125	26	622,867	622,827	40	
合 計	193,937	191,550	2,387	2,439,444	2,443,865	▲4,421	

マネジメントの視点による財源配分、事務事業の見直し等の考え方について

--